

河原秀久教授が文部科学大臣表彰を受賞

◎「革新的冷凍食品品質保持剤不凍タンパク質含有エキスの開発」が評価



▲科学技術賞(開発部門)を受賞した河原教授

化学生命工学部の河原秀久教授が、平成27年度科学技術分野の文部科学大臣表彰【科学技術賞(開発部門)】を受賞し、4月15日、文部科学省において授賞式が行われた。

文部科学省では、日本の科学技術水準の向上に寄与することを目的とする科学技術分野の文部科学大臣表彰を定めており、科学技術賞は顕著な功績をあげた者に対し、表彰を行う。

今般の科学技術賞受賞者は191人で、そのうち私立大学関係者は11人。河原教授は、株式会社香寺ハーブ・ガーデン兼有限会社ビック・ワールドの福岡譲一代表取締役、及び株式会社カネカ食品事業部新規事業企画グループ幹部職 寶川厚司氏と共同開発してきた「革新的冷凍食品品質保持剤不凍タンパク質含有エキスの開発」に関する業績が評価され、今回の受賞となった。

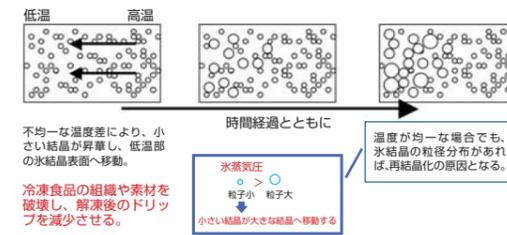
河原教授らの研究グループは、2000年から氷結晶の成長を制御する不凍タンパク質に着目。2005年から2008年にかけて行った研究において、カイワレ大根に不凍タンパク質が存在することを発見した。以来、これを基に研究を進め、不凍タンパク質含有エキスを開発。冷凍食品に微量添加するだけで風味や食感の劣化を防ぎ、品質を向上させることができるほか、それまでは冷凍できなかった和菓子などの加工食品の冷凍保存を可能にし、必要量の安定供給も見込めるなど、冷凍食品界の期待を背負ってきた。

2012年には大手製麺メーカーの冷凍麺にこの不凍タンパク質含有エキスを採用され、本格販売を開始。これにより、世界で初めて、遺伝子組み換え技術を利用しない植物由来の不凍タンパク質含有エキスの実用化が開始された。さらに、2014年には自然解凍しても作りたての柔らかな食感が楽しめるお餅「和neチャージS」を和菓子店と共同開発するなど、冷凍加工食品の品質向上へ貢献が続いている。

今後は、食品分野はもちろんのこと、医療、機械、環境分野など、さまざまな分野での実用化にも期待が寄せられる。

▼氷の再結晶化現象

-10℃以上の保存時や解凍時(種やかな速度での)に起きている。



▼冷凍うどんの冷凍焼け防止効果



▼不凍タンパク質を添加した「冷凍お餅」



カイワレ大根由来の不凍タンパク質を添加することで、一度冷凍しても、自然解凍で作ったての柔らかな食感が楽しめる「冷凍お餅」和neチャージS」



総合図書館ラーニング・commonsがオープン 学生の主体的な学習を支援



Learning Commons



▲オープニングセレモニーの様子

4月6日、関西大学は千里山キャンパス総合図書館1階に「総合図書館ラーニング・commons」を開設し、オープニングセレモニーを開催した。総合図書館ラーニング・commonsの開設は、学生の主体的な学習を支援することが目的。施設内は①討論や情報収集等、少人数によるグループ学習が行える「ラーニング・エリア」②プレゼンや発表の練習等、個室ブースでのグループ学習が行える「ワーキング・エリア」③ゼミナールやガイダンス等が行える「ワークショップ・エリア」④大学院生のティーチン

グアシスタントから文章作成の支援が受けられる「ライティング・エリア」という4つのエリアで構成されている。開放的な学習環境に加え、豊富な蔵書や各種データベース等の情報源を活用できることが特徴で、ノートPCやプロジェクター、電子黒板等が借りられるほか、困ったことがあればcommons・カウンタースタッフが対応してくれる。

セラモニー当日は、楠見晴重学長並びに内田慶市図書館長による挨拶の後、テープカットや内覧会が行われ、学生の更なる学習の充実に期待が寄せられた。

特設サイト開設 新スローガン「関大には、人がいる」を策定

◎特設サイト「関大には、人がいる」
<http://hito.kansai-u.ac.jp>

関西大学は3月11日、2016年に迎える創立130周年に向けて、新スローガン「関大には、人がいる」を発表した。

このスローガンは「関西大学がどう変わるべきか」について、学内で模索して策定。スローガン作成にあたっては、学生26人で構成された学生広報チームも、学生や教職員にアンケート協力を呼び掛けて、広く学内の意見や思いを求めた。その結果、本学の魅力の根幹には、常に「人」が語られていることが明らかになり、それを踏まえて考案し決定した。

本学は今後も、関西大学の「人」らしく、明るく、思いやる気持ちを持ち、人懐っこく、「考動」を忘れずに、世の中を大いに元気にしてくれる「人」を育むべく、このスローガンを基点としたコミュニケーション活動に積極的に取り組んでいく。

また、特設サイト「関大には、人がいる」では、学生の活動や教員の研究、卒業生のインタビューなどを紹介している。



1. 卒業式にはフォトフレームを設置 2. 阪急梅田駅ムービングウォーク横に掲出したポスター 3. ポスター撮影には総勢188人の学生や教職員が協力